

# そこが聞きたい!!

## 一般質問

### 公共工事の施工時期等の 平準化について

公明党代表 小暮 ちえ子

**問** 私たちにとって地域の建設業は生活に欠かせない社会資本整備の担い手であるとともに、災害時には最前線で安全・安心の確保に活躍する大切な存在である。公共工事の施工時期は7月以降に集中する傾向にあり、年度当初には少なく、年度末に向かつて増加していく。計画的な事業執行は、発注する側が主体的に取り組み義務がある。「平準化」が必要である。本市の取り組みについて伺う。

**答** 公共工事の施工時期については、予算成立後に入札・契約手続きを行うことが一般的であり、どうしても年度当初は工事量が少なく、第2四半期の7月以降、年度末までを工期とした工事が増加する傾向にあります。その偏りを解消し、年度を通して安定的に工事を発注していくことが、基本的な平準化の考え方です。平準化を促進することで、



公共工事の工期を示す看板

受注者は、休日の適切な確保など労働者への処遇改善、年度当初に労働者や機材の実働日数が増えることによる企業経営の健全化を図ることができま。一方、発注者の効果としては、建設資材や労働者の効率的な活用促進により入札不調が少なくなることや、年度末の時期に集中する検査事務に伴う完成図書の精査等を低減できるなどの効率化が図られます。

【その他の質問】  
・風疹の予防対策について

### 第二下野堂踏切の 拡幅について

市議団未来代表 穂田 平一郎

**問** JR高崎線の第二下野堂踏切は、本庄市と上里町の境にあります。すでに踏切の周りの道路は拡幅され、この踏切のみが、幅1・8mと狭く、近隣住民の利用に不便との意見を頂いています。大型スーパー「とりせん」に加え、最近、「トライアル」が近隣に進出しました。歩いて近くへ買い出しなどを考えると、平面交差での踏切の拡幅を進めるべきと考えますが、市の考えを伺います。

**答** 国土交通省により示された「踏切道の拡幅に係る指針」において、踏切は踏切事故の防止及び道路交通の円滑化のため、その除去に努め、拡幅の際は、別の踏切を廃止・統合を原則とすることが国の方針であります。一方、市としては、踏切は市民の日常的な移動に必要不可欠であり、また、災害時の陸橋の代替路線としても重要であると認識しています。

【その他の質問】  
・蓋のされていない道路側溝の整備について  
・都市計画道路・新駅南通り線の線形変更について



第二下野堂踏切

第二下野堂踏切周辺で自動車の横断が可能な道路としては本庄駅方面に蛭子塚通り陸橋と、神保原駅方面に神保原陸橋があり、この2つの立体交差間では自動車と鉄道を横断できないため、災害に備え平面交差する踏切が必要であると認識しています。

### 英語、数学、漢字検定 費用の全額補助について

自由民主党 本庄クラブ代表 広瀬 伸一

**問** 中学生の学力向上と挑戦することのきっかけ作りの後押しとして、全ての市立中学生が費用を気にせず、英語検定、数学検定、漢字検定などを受検できるように、その検定費用の全額補助事業実施を提案する。

**答** 検定受検料の補助制度は、本市の教育大綱の基本方針の具現化につながるものであり、生徒の挑戦を後押しし、さらには学力向上にもつながる施策であると考えております。県内を調査した結果、18市町で実用英語検定（英検）を対象とした補助を行っていました。文部科学省では、グローバル人材の育成に向け、英語力向上を目指した取り組みを進

# ここがポイント!



めており、中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力をもった生徒の割合が50%以上を目指しています。国の目標を受け、埼玉県、本市でも同様の目標としています。本市では目標達成のため、授業改善を中心とした英語力の向上に取り組んでいるところです。これらのことから、平成31年度からの導入を目指して、まずは中学3年生を対象に英検の受検料の全額補助ができるよう精査検討を行っています。対象の拡大については、この補助事業を進め、検証する中で、その後の方向性等を検討していきたいと考えています。

**【その他の質問】**  
 ・歩行者の安全対策  
 ・児玉郡市共通認定ごみ袋の利便性向上

**問** 本年度から5年間の計画は職員の提案によるものことですが、窓口業務は国の方針を視野に入れた改革になっているのか、又、民間活力の活用では民間委託を積極的に検討するとなつていますが、指定管理者導入の検討はどうなっているのか、自主財源の確保も、市税の収納率をはじめ債権等の数値目標の設定が必要であると思えますが、市の考えをお聞きます。

**答** 新たな行政改革大綱実施計画は、職員の意識改革がもたらす行動改革により、職員自らが課題を認識し自らその解決に向けた取り組みを提案したものを、3つの基本方針と18の改革プログラムにまとめたものです。改革プログラムにある「窓口体制の在り方の検討」では、国の方針を踏まえ、窓口の一本化や民間委託化なども含めて検討していきます。

**本庄市行政改革大綱 実施計画について**  
 市議団 大地代表 高橋 和美



行政改革大綱実施計画

指定管理者制度の導入は、前実施計画を経た現在では定型業務として取り組んでおり、今後も新たに導入すべき施設を継続して検討するとともに、現状の指定管理も運用・活用の検討を進めていきます。

また、前実施計画では総合振興計画実施計画と同様の年度目標や目標値がありました。新たな実施計画は原点に戻って検討し、行政改革とは「何をやるのか」ではなく、問題意識を持って仕事のやり方を見直し「どうやるのか」と結論づけ、職員が自ら考える「意識改革」と「行動改革」に取り組んでいます。今後とも頼られる市役所の実現に向けて、不断の改善改革に取り組んでいきます。

**【その他の質問】**  
 ・ごみの減量化について

**問** 県教育委員会は再度3高校の統廃合の検討を開始している。木村九蔵蚕業伝習所を前身とする児玉白楊高校。県内屈指の進学校である本庄高校。世界柔道選手権大会で2連覇を達成。2大会金メダルを獲得した新井千鶴選手を輩出した体育コースを設置する児玉高校。全国に誇れる3高校の存続が危ぶまれる。県立3高校統廃合の凍結に向けて、市教育委員会に早急な検討、対策を求める。

**答** 県では、現在検討している再編整備計画の中で、北部及び秩父地域の2校から3校の再編整備を検討しているとのこと。県は、再編整備を進めるにあたり、1学年あたりの学級数が5学級以下の高校が所在する市町村の教育委員会を訪問し、対象校と地域との連携状況について、意見交換を行っています。本市では、6月に意見交換を行い、市内の高校はいずれも歴史と伝統があり、地元から多数の生徒が通学する地域に根ざした高校であること、市内の私立高校を含む6校が連携し、合同の文化祭である六高祭を毎年開催していること等を説明し、引き続き、高校の活性化と特色化を図り、魅力ある学校づくりを進めるようお願ひしています。

**埼玉県立高等学校 3校の統廃合について**  
 町田 美津子 (無党派)

県の再編整備計画は発表されていない段階ですが、教育委員会としては、まずは市内の小中学校の児童生徒や保護者の声を傾聴し、具体的な統廃合の計画が示された時点で、生徒、保護者、地域の皆様の意見をもとに、対応を検討したいと考えています。

**【その他の質問】**  
 ・安心・安全な小児と周産期等の救急医療体制を構築することについて



児玉高校の格技場



**狭あい道路に潜む問題  
についての認知度と  
解決策について**

早野 清（自民党本庄クラブ）

**問** 緊急時・災害時・救急車両・介護サービス等を利用する高齢者の送迎に支障をきたす狭あい道路が多く点在しておりますが、この問題に対しての対策はどのように行っているのかお伺いします。建築基準法により敷地を後退した土地所有者が、市に対して無償使用承諾・寄附した土地に対しての整備はどのようになっているか。道路後退用地建築物等の補助制度についてお伺いします。

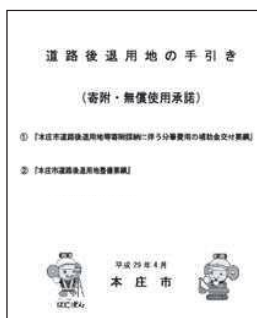
**答** 狭あい道路は、一般的に幅員が4m未満のものと言えます。狭あい道路の解消に向けた取り組みとして、狭あい道路拡幅のため、市が必要な土地を買収し、支障となる塀や立木等の補償をし、工事を行っています。また、道路後退し、無償使用承諾、寄附した土地の整備については、本庄市道路後退用地整備要綱に基づき、原則として既存道路の形態と同様

な後退用地の整備を行い、維持管理を行っています。

今年度からは「本庄市道路後退用地建築物等の移転等補助金」制度を開始し、「本庄市立地適正化計画」における本庄駅、児玉駅及び本庄早稲田駅周辺の「居住誘導区域」内で道路後退をし、土地の寄附又は無償使用承諾をいただいた場合、ブロック塀等の移転や除却費用に50万円を上限に補助を行っています。

将来に向けたまちづくりのため、安全安心な道路整備は不可欠であり、狭あい道路の解消が早期に図られ快適な居住環境が確保されるように、今後とも計画的に拡幅整備事業等を推進していきます。

**【その他の質問】**  
・県事業である国道462号の歩道整備事業について



道路後退用地の手引き

**元号変更時の本市の  
イベントについて**

富田雅寿（市議団大地）

**問** 5月に元号が変わります。当日、本市独自のイベントは考えていますか。また、本市には、市民参加のお祭りやイベントが多数ありますが、新元号元年のイベントは行う予定がありますか。市として予定がなくても、市民が企画した場合、行政としてバックアップをさせていただけますか。元号変更当日、主要道路に日の丸を掲げる用意はありますか。観光協会会長の市長にお伺いします。

**答** 新たな元号へと改められることに対して、市で何らかの催しを実施することについては、現在のところ、予定はございません。しかし、5月に元号が改められることを機に、新たな時代の到来を肌にした方々により、これまで実施してきたイベントの目的や手段等についての見直し、新たなイベントの実施の可能性もあります。市民活動の活性化は、市全体

に好影響を及ぼすと考えられますので、今後の市民の皆様の動向を注視し、必要に応じて、どのような支援の方法があるか研究していきたいと考えています。

日の丸を掲げることや、改元を機としたさまざまな催し物等に対して、市として何らかのメッセージを発信することとは、現時点では考えていません。市としては、5月1日の元号変更当日、あるいはその年度に行われるイベント等への市の関わり方や、その支援方法については、国や県、他市の動向を注視しながら、研究していきたいと考えています。

**【その他の質問】**  
・合併後の市民が想う、本市のイメージとイベント活動について



はにぼんプラザに入る宮本町山車

**寄附金等の取り扱いの  
現状について**

林 富司（自民党本庄クラブ）

**問** 本市における「ふるさと納税」制度とは別に、市民の皆さんから厚意で寄せられた寄附金等の現状、寄せられた寄附金等の取り扱い窓口について伺います。また、寄せられた寄附金等の活用についてお聞かせください。

最後に、市民からの寄附金等を拒んだ事例があるのかどうか、実際には、市民からの寄附金等をお断りした事例があるとお伺いましたが、具体的な内容をお伺いします。

**答** 市民の皆様からの寄附金は、総称名を「ふるさと本庄応援寄附」と名付けた7つの基金のいずれかでお預かりをする場合が多く、各基金の目的に沿った事業に活用させていただいています。主なものとして、「本庄市地域福祉基金」は、老人クラブ連合会の活動事業等に、「本庄市教育振興基金」は、中学校の備品購入の一部等に活用させていただいています。



取扱窓口は、寄附金活用先に  
応じて、各基金の担当課が個  
別に対応しています。  
また、市民の皆様からの寄  
附金の過去3か年の状況です  
が、平成27年度は4件で55  
6万円、平成28年度は4件で  
552万1063円、平成29  
年度は、1件で20万円となっ  
ています。  
なお、市民の皆様からの寄  
附金をお断りした事例ですが、  
平成27年度から現在まで、個  
人の方からの寄附の申し出を  
お断りした事例はございませ  
んが、個人以外からの寄附の  
申し出について、寄附採納に  
関わる留意点などを含め総合  
的に検討し、お断りさせてい  
ただいた事例はございます。

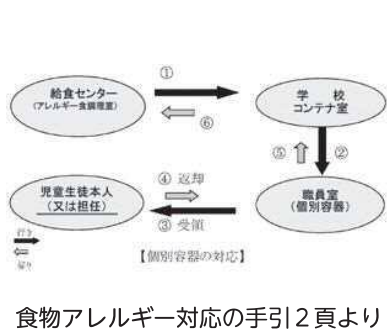
【その他の質問】  
・ いじめの現状と対策につい  
て

小学校で、アレルギー  
対応給食対象の児童  
が普通給食を誤食した事案が  
発生した事をお詫び申し上げ  
ます。誤食の原因は、アレル  
ギー対応給食が提供されるこ  
とを確認せずに児童が普通給  
食を喫食したという、確認不  
足であると考えています。  
児童の両脇と左手がかゆい  
という事案であったため、学  
校は、翌日の健康状況を確認  
して教育委員会に報告しよ

10月に児童が  
アレルギーのある給食  
を誤食した件について  
内田 英亮 (市議員 大地)

本庄地域の小学校で、  
学校も承知するアレル  
ギー品を児童が給食で誤食す  
る事件があった。翌日、教育  
委員会へ私が事実確認に行き  
「報告が無い」、議員が集  
まる協議会で私がこの事件に  
ついて質問すると「把握して  
いない」。学校から教育委員  
会への報告や、内部の情報共  
有はどうなっているのか。常  
時アレルギー対応食用のトレ  
ーを使用していた事も問題で  
あり、早急な改善を求める。

【その他の質問】  
・ 郷土愛醸成のため「新・郷  
土かるた」をつくること  
について



としたものですが、翌日、欠  
席の連絡があった時点で、学  
校からの報告がされるべきで  
した。改めて連絡の徹底につ  
いて学校に指導しています。  
また、アレルギー対応給食  
のトレーは毎日使用しており  
ましたが、アレルギー対応給  
食自体は別のところで直接本  
人に渡しているため、誤食と  
の直接の関係はございません。  
教育委員会では、再発防止  
に向けて、アレルギー対応給  
食の取り扱いの徹底を指示し、  
複数のチェックが入るように  
再確認しました。アレルギー  
対応給食に対する取り組みを  
適切に行い、安全な学校給食  
を提供してまいります。

食物アレルギー対応の手引2頁より

小学校のトイレについて  
矢野 規 (市議員 未来)

市内12校の小学校の  
内、5校には体育館に  
トイレが無く、内3校は校舎  
外のトイレ環境も悪いと思う  
「子どもたちが快適かつ安心  
して学習に取り組めるよう、  
学校支援体制の強化や学校施  
設の計画的整備、教育機器の  
充実などの教育環境の整備を  
推進します。」と本庄市教育  
大綱の基本方針を掲げている  
が、体育館内やその近くへの  
トイレの新設、外のトイレの  
改修工事の予定を伺う。

【その他の質問】  
・ 放課後の小学校施設の活用  
について

平成29年度から、環  
境改善を図る目的で、  
トイレ改修に着手し、建て替  
えをした児玉中学校と本庄東  
中学校を除く小中学校14校に  
ついて5年計画で進めていま  
す。このトイレ改修工事では、  
児童生徒が快適かつ安心して  
学習に取り組めることを目的  
としているため、学習・生活  
の場である学校において、ほ  
とんどの時間を過ごしている  
校舎内のトイレの改修を行う

ことを基本としています。こ  
のようなことから、まずは、  
校舎内のトイレを最優先に、  
便器の洋式化や床のドライ化  
など、衛生面や照明などの環  
境面の整備を行い、学校のト  
イレをきれいで明るいものと  
し、良好な教育環境を整備し  
たいという方針のもと学校と  
の調整の上、取り組みを進め  
ています。





本市市立中学校での  
吹奏楽部活動時間の  
現状について

巴 高志（市議団未来）

**問** 本年度、文化庁の検討会議が実施した文化

部活動実態調査では、中学校の吹奏楽部の半数近くが土曜日に5時間以上の部活動をしているという結果でした。これは吹奏楽部の練習時間が、昨年スポーツ庁が調査した「長時間トレーニング」が問題視されている運動部より長い傾向にあることも分かりました。本市市の吹奏楽部の部活動の活動状況の現状について質問を致します。

**答** 近年の報道等で、部

活動について、大会・コンクール等に向けた過度な練習による生徒の肉体的、精神的負担による健康や学業への影響、教員の多忙化、負担の増大等が指摘されています。市内の市立中学校の部活動の現状は、以前は休養日等が少なく、長時間にわたる活動を行っている部活動も見られましたが、平成28年6月の国からの通知により、教員、生

徒ともに部活動における休養日の設定の徹底をはじめ、部活動の大胆な見直しを行い、適正化を推進するよう示され、本市でも今年度、部活動の見直しが行われ、以前より改善されている状況です。

市立中学校吹奏楽部の活動時間は、平日は下校時刻の関係もあり長くとも2時間程度、休日は市内4中学校のうち3校が半日程度の活動をし、1校については1日の活動が多くなっています。土日は4校とも、どちらかを基本的に休養日に行っています。コンクール等が近い場合は、学校の規定等により保護者の同意のもと、時間延長等の例外規定での活動を行っています。

**【その他の質問】**  
・本市市におけるプログラミング教育について



受動喫煙対策等について

堀口伊代子（市議団未来）

**問** 換気扇や、庭など屋

外で排出されるタバコ煙が近隣の家の中に入り込み、望まない受動喫煙が起こっている。公共施設や駅の敷地内では灰皿の設置により受動喫煙を招いている。タバコ煙の到達範囲を考えると非喫煙者通行禁止区域はテニスコート1面以上と言われる中、公共施設や駅の受動喫煙をどのように防ぐのか。また、受動喫煙が起こっている現状をどのように考えているのか伺う。

**答** 公共施設等における

受動喫煙防止策については、健康増進法の趣旨により、受動喫煙から市民の健康を守るという観点から、平成25年度に「公共施設における受動喫煙防止に関する方針」を策定し、施設の用途に応じて、建物内または敷地内を全面禁煙とする原則に基づき、受動喫煙の防止に取り組んできているところです。この方針に基づき、公共施設の建物

内禁煙施設に、屋外の喫煙場所を設置している状況です。本庄駅については屋外であることから、この方針の対象とはなっていませんが、多くの方々が利用する施設であるため、喫煙所の集約や、本庄駅北口では移設の対策を講じています。

健康増進法の改正により、これまで以上の受動喫煙防止の措置が求められているところです。平成32年4月の全面施行に向けて、法改正に伴う改正省令等による基準が順次整備されています。同法では、屋外で受動喫煙を防止するための必要な措置が取られた喫煙場所を設置することができるとの規定があり、今後示される予定の具体的な基準を踏まえ、施設ごとの適切な対応を検討していきます。



公共施設入口の灰皿設置状況

本市の名所・絶景スポットクローズアップ政策について

山田康博（市議団未来）

**問** 本市市の良さを瞬時

に伝える写真・映像、いわゆるインスタ映えするまだまだ隠れたスポットが本市にはたくさんあり、同じ景色でも時間や季節を変えることにより再発見できる宝が眠っています。様々なフォトコンテスト等の目標点として、昭和59年に制定された「本庄新八景」に続く「本庄新百景」の創設を合併後12年の経過に鑑み、提案させていただくが、市の考えを伺います。

**答** 議員ご提案の「本庄

新百景」の創設ですが、インターネットやスマートフォンなどの発達により、誰もが個人で写真や文章などを公開することができるようになり、最近では、インスタグラムを活用したフォトコンテストを行っている自治体も多くあります。特定のキーワードをつけて発信してもらうことで、街の魅力を効果的にPRできるとともに、参加者への



本庄新八景の石碑

【その他の質問】  
・地域間文化交流について

景品等を用意することで参加意欲を向上させ、積極的に参加してもらおう仕組みを作っているところもあります。

本市においても、こうした取り組みも参考とし、市民の参加意欲の向上や新たな名所絶景スポットの発見、また交流人口の増加につながるような仕組み作りについて研究していきます。その一つとして、インスタグラムなどのSNSの活用による取り組みも工夫・発展させ、新たな名所の発見・発掘につなげていくことも考えています。こうした取り組みも含め、市民の皆様のご意見等を伺いながらご提案の「本庄新百景」にもつなげていければと考えています。

**小規模事業者の支援  
―小規模企業振興条例の  
制定について**

柿沼 綾子（無会派）

**問** 平成29年の12月議会では、「小規模企業振興条例」の制定を検討するという答弁だったが、その後の検討状況を伺いたい。特に、条例には国の新しい法律にあるように従業員が5人以下の「小企業者」にも光があたるようにしてほしいがいかがか。

また、商店リニューアル助成についても、従来から営業している商店に支援をするという観点から、検討を前に進めてもらいたい。答弁を。

**答** 本市においても、中小企業振興は不可欠であると考えています。そのために、産業振興施策を検討すると共に、条例制定に向けて市内企業者等との勉強会など、条例制定市の状況調査研究等を始めたところです。

今年度は、地域の実情把握や条例制定している市に、その手法や課題を伺うなど、より多くの情報を集め、次年度以降の具体的検討へ向けての

資料づくりを進めていきます。早い時期での条例制定に向けて、中小企業専門家、経済団体、関連団体などの協議を進めるなかで、基本的な認識を共有したうえで、条例をつくりあげていく所存です。条例に小企業者を入れることについても、勉強会や意見交換のなかで議論していければと考えています。

商店リニューアル助成については、現時点で導入予定はありませんが、条例制定に向けた取り組みのなかで本市の商業振興のあり方も検討し、他市の施策を研究し、本市の実情にあった商業活性化施策を検討していきます。

【その他の質問】

・男女共同参画について  
・非核平和宣言都市にふさわしい取り組みについて



**狭あい道路・  
セットバックについて**

門倉 道雄（市議団未来）

**問** 幅員4m未満の道路が本市には400km現存するなか、私有地前の道路を拡幅したいと考える市民はどこに相談すればよいのか。

後退用地の寄附・無償使用承諾の手続きのワンストップ化はできているのか。セットバック施策のPRはどのようにされているのか。一般車両・緊急車両とも大型化している現在、糸魚川大震災を思うと、抜本的対策が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

**答** セットバックは、建築確認申請に関連することが多いため、まずは建築

開発課が窓口となり、セットバックした土地の寄附及び無償使用承諾についてご説明しています。セットバック部分の土地について市に寄附することを選択された場合は、道路敷地を取り扱う道路管理課をご案内しています。また、無償使用承諾とすることを選択された場合は、引き続き建

築開発課が窓口となります。寄附または無償使用承諾をいただいた後の舗装等の整備については、道路整備課で対応しています。

いずれの課も同じフロアにありますので、十分な連携をとり、ワンストップサービスを提供できるよう努めています。また、セットバック部分の市への寄附、無償使用承諾、寄附の際の補助制度については、市のホームページや広報により周知を図っています。

狭あい道路の問題は、公共の福祉のために私権を制限するなど、抜本的な対策を国全体として議論し、新しい道筋をつけていくことも必要だと感じています。

【その他の質問】  
・防犯パトロールの現状について



狭あい道路のセットバックイメージ